

岡山大学大学院環境生命科学研究科（博士前期課程）

Graduate School of Environmental and Life Science(Master's Course) OKAYAMA UNIVERSITY

2022年4月入学 第1回入学試験

Entrance Examination for April 2022 (1st Application)

専門科目 Specialized subject	果樹園芸学
-----------------------------	-------

◎ 以下の用紙が揃っているか確認し、用紙の過不足、印刷不明瞭や汚れ等に気づいた場合は、静かに手を上げて監督者に知らせること。

Check if the following papers are present as indicated below. If you find excess or deficiency, some incomplete printing or collating, please let the supervisor know by raising your hand silently.

表紙（この紙） Front page（This paper）	1 枚
問題用紙 Examination Questions	1 枚
解答用紙 Answer Sheet	5 枚
下書用紙 Scratch Paper	3 枚
合計 Total	10 枚

◎ 解答用紙全てに受験番号と氏名を記入すること。

Please write your examinee's number and your full name on all answer sheets.

2022年4月入学 第1回入学試験問題用紙
Entrance Examination for April 2022 (1st Application)
Examination Questions

岡山大学大学院環境生命科学研究科
Graduate School of Environmental and Life Science
(Master's Course) OKAYAMA UNIVERSITY

専門科目 Subject
果樹園芸学

以下の7問から、5つを選び、解答しなさい。問題毎に、解答用紙を1枚用い、最初の行に問の番号を記しなさい。

問1. 以下に示した用語を簡潔に説明しなさい。

- 1) ゲノム編集
- 2) 花芽分化
- 3) 幼若性
- 4) クライマクテリック型果実

問2. 植物ホルモンと考えられている物質のうち、果実の発育や成熟に関係するものを3つ選び、それぞれの役割を説明しなさい。

問3. 花成関連遺伝子の発現に関して、制御機構も含めて説明しなさい。

問4. 近年、果樹栽培では、省力化を目指して、低樹高栽培が着目されている。それに利用されている手法や生理過程について説明し、その利点、不利な点を示しなさい。果樹種は問いません。

問5. 一般的なモモ果実は成熟すると、果肉が軟化する。その過程を説明しなさい。

問6. 果樹の繁殖は、一般的に接ぎ木によって行われている。その理由について説明しなさい。

問7. 近年、気象の変動が大きくなってきていて、果樹栽培に強く影響し始めている。気温もしくは降水量が種々の果樹の生育に及ぼす影響を取り上げ、説明しなさい。